

NEC



NEC Express5800シリーズ

N8100-981/982

Express5800/InternetStreamingServer DS

ユーザーズガイド

2004年 7月 第2版

ONL-3020bE-ISSDS-000-00-0406

商標について

StreamProとEXPRESSBUILDER、ESMPRO、CLUSTERPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftとWindows、Windows Server、Windows NT、MS-DOS、Windows Mediaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。IntelとPentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。Xeonは米国Intel Corporationの商標です。DatalightはDatalight,Inc.の登録商標です。ROM-DOSはDatalight,Inc.の商標です。ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。AdaptecとSCSISelect、HostRAID、Adaptec Storage Managerは米国Adaptec, Inc.の登録商標または商標です。MegaRAID、Power Console Plusは米国LSI Logic Corp.の登録商標です。Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の登録商標または商標です。DLTとDLTtapeは米国Quantum Corporationの商標です。RealSystemはRealNetworks,Inc.の登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

オペレーティングシステムの表記について

Windows Server 2003はMicrosoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003, Enterprise Edition、およびMicrosoft® Windows Server™ 2003, Datacenter Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003, 32-bit Enterprise Edition for Embedded Systems with the Server Appliance Software Version 3.0 (1-8 Proc Version)の略称です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略称です。Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、およびMicrosoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるように、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 ~必ずお読みください~

本装置を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには本製品のどこが危険か、どのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズガイドおよび警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告

人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



注意

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例) (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例) (接触禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例) (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)







注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
		注意
	指定以外のコンセントに差し込まない 電源は指定された電圧、電源のコンセントをお使いください。指定以外を使うと火災や漏電の原因となります。	

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		爆発または破裂のおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。







行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については巻頭の『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

 警告	
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
	煙や異臭、異音がしたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
	針金や金属片を差し込まない 通気孔やフロッピーディスクドライブ、DVD/CD-ROMドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。
	指定以外の場所で使用しない 本装置はEIA規格に適合した本装置用の19インチラックに取り付けて使用します。本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。 本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を参照するか、保守サービス会社にお問い合わせください。
	規格以外のラックで使用しない 本装置はEIA規格に適合した本装置用のラックに取り付けて使用します。EIA規格に適合していないラックに取り付けて使用したり、ラックに取り付けずに使用したりしないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本装置で使用できるラックについてはお買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

 **注意**



海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。



装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項



ぬれた手で電源プラグを持たない



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



指定以外のコンセントに差し込まない



電源は指定された電圧、電源のコンセントをお使いください。指定以外の使うと火災や漏電の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。

たこ足配線にしない



コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

中途半端に差し込まない



電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良による感電、発熱による火災の原因になることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと感電や発熱による火災の原因となるおそれがあります。

指定以外の電源コードを使わない



本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)

添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない



添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

注意



一人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(44Uラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。必ず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。



荷重が集中してしまうような設置はしない

ラックおよび取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。



一人で部品の取り付けをしない

ラック用のドアやトレーなどの部品は2人以上で取り付けてください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。



ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない

ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。



複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない

複数台のデバイスをラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。



定格電源を超える配線をしない

やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の配線とインストール用件に関しては、電源工事を行った業者または、管轄の電力会社にお問い合わせください。

設置・移動・保管・接続に関する注意事項

注意



一人で持ち上げない

本装置の質量は最大25kg(構成によって異なる)あります。一人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。装置は二人以上で底面をしっかりと持って運んでください。また、フロントベゼルを持って、持ち上げないでください。フロントベゼルが外れて落下し、けがの原因となります。



指定以外の場所に設置しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。



カバーを外したまま取り付けない

本装置のカバー類を取り外した状態でラックに取り付けしないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。



指を挟まない

ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟まないよう十分注意してください。



プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵装置の取り扱いに関する注意事項

警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



DVD/CD-ROMドライブの内部をのぞかない

DVD/CD-ROMドライブはレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。



リチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています（オプションデバイスの中にはリチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーを搭載したものもあります）。バッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーやニッケル水素バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、バッテリーの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

注意



高温注意




本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。



中途半端に取り付けない

電源ケーブルやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

 注意	
	ラックから引き出したり取り外したりしない 本装置をラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。
	巻き込み注意 本装置の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。
   	雷が鳴ったら触らない 雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。
 	ペットを近づけない 本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。
	装置の上にものを載せない 載せたものが倒れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。
	DVD/CD-ROMドライブのトレイを引き出したまま放置しない 引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。
	近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない 本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。
	感電注意 本装置のハードディスクドライブ、電源ユニット(2台搭載時のみ)はホットスワップに対応しています。通電中に部品の交換をする際は、内部の部品の端子部分などに触れて感電しないよう十分注意してください。

警告ラベルについて

本装置内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本装置を操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。

重量物注意
WARNING:
HEAVY ITEM





じっくり腰や落下事故防止のため移動のさいは2人以上で行ってください。
 To avoid the risk of personal injury or damage to the unit, move the unit with at least two or more people.




注意 CAUTION

オプションの取付け、取外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。
 Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options.





電源プラグを抜く 感電注意


ネジは本体内部へ落とさない様、十分ご注意ください。
 Do not drop any screws inside the system.




ボード及びオプション機器の接続の際は、必ずユーザースガイドを参照し、正しく接続して下さい。
 誤った接続は、故障や火災の原因となります。
 Refer to "User's Guide" when option board or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents.

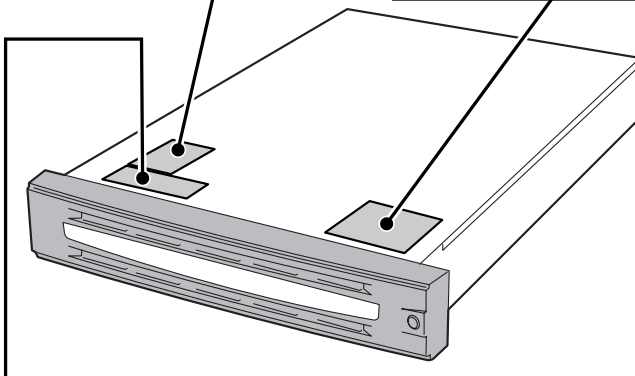


指をはさんだり、ぶついたりしないように注意して下さい。
 To avoid the risk of personal injury, be careful when accessing the inside of the system.





装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかりと持ち上げて下さい。
 Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system.





注意 CAUTION

- 高温になるコンポーネントがあります。十分に冷えてから触れるようにしてください。
- 電源を切ってもバッテリーで稼働している部分があります。保守をする前に各々のコンポーネントの取り扱い説明書をお読みください。
- As some components may become very hot during system operation, give ample time to allow cooling as well as use
- precaution when handling internal components immediately after powering down. Som internal components may still be operational on battery power. Refer to instruction for this system as well as options prior to maintenance.

取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本装置の誤動作や故障の原因となります。

- 本装置専用の保守用パーティションがOSから見える場合がありますが、この保守用パーティションを削除しないでください。
- 本装置が正常に動作できる場所に設置してください。詳しくは34ページを参照してください。
- AC入力電圧が100Vのコンセントに添付の電源コードを接続してください。
- 周辺装置へのケーブルの接続/取り外しは本装置の電源がOFFになっていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源のOFFやフロッピーディスクの取り出しは、本装置のアクセスランプが消灯しているのを確認してから行ってください。
- 本装置に電源コードを接続した後や電源をOFFにした後は、30秒以上経過してから電源をONにしてください。
- 本装置を移動する前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本装置は、DVD/CD規格に準拠しない「コピーガード付きDVD/CD」などのディスクにつきましては、DVD/CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
- 定期的には本装置を清掃してください(清掃は7章で説明しています)。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- 次の条件にあてはまる場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。
 - 装置の輸送後
 - 装置の保管後
 - 装置の動作を保証する環境条件(温度：10℃～35℃・湿度：20%～80%)から外れた条件下で休止状態にした後

システム時計は毎月1回程度の割合で確認してください。また、高い時刻の精度を要求するようなシステムに組み込む場合は、タイムサーバ(NTPサーバ)などを利用して運用することをお勧めします。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。
- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。
装置を保管する場合は、保管環境条件(温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%)を守って保管してください(ただし、結露しないこと)。

- 本装置、内蔵型のオプション機器、バックアップ装置にセットするメディア(テープカートリッジ)などは、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤作動や故障の原因となります。保管した大切なデータや資産を守るためにも、使用環境に十分になじませてからお使いください。

参考：冬季(室温と10度以上の気温差)の結露防止に有効な時間

ディスク装置：約2～3時間

メディア：約1日

- オプションは本装置に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本装置に取り付け/接続できても正常に動作しないばかりが、本装置が故障することがあります。
- オプションは本装置専用の純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやオプションボードには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。
- 本装置内部のオプションの取り付け/取り外しを行った場合は、内部のケーブルが正しく配線されていることを確認してください。誤ったケーブルの配線は、断線による誤動作だけでなく、火災・感電の原因となるおそれがあります。
- DVD/CD-ROMドライブや3.5インチデバイスにつけるDATなどのオプションは、ソフトウェアのコマンドからトレイまたはメディアをイジェクトできる場合があります。ソフトウェアからイジェクトする場合は、フロントベゼルが取り外されていることを確認してからコマンドを実行してください。フロントベゼルを取り付けたままコマンドを実行するとフロントベゼルにトレイやメディアがぶつかリイジェクトできず、エラーが起きるだけでなく、本装置の故障の原因となります。



保守サービスについて

ヒント

本装置の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

本装置をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ装置を長時間連続して使用すると、身体の各部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい作業姿勢で

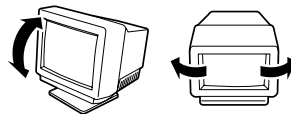
コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体のどの部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。

『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



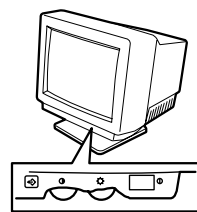
ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



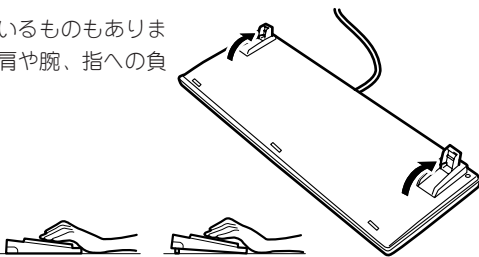
画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ(ブライトネス)・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



キーボードの角度を調節する

キーボードには、角度を変えることができるよう設計されているものもあります。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



装置の清掃をする

装置をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



はじめに

このたびは、本装置をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

わずか数年の間でさまざまな分野において活用されるようになったインターネット。今では、単なるテキストファイルや静止画像ファイルだけではなく、音声や動画ファイルの配信も扱えるようになりました。

「今すぐ見たい!」、「今すぐ聞きたい!」。本装置は、そのようなニーズに応えた映像や音声の配信を目的としたインターネットストリーミングサーバです。

世界中のあらゆる場所で行われているイベントやライブ、スポーツを本装置を介してその場で見て、聞き、楽しむことができます。

Web配信のために備えられたさまざまな機能に加えて、情報発信の中核を担うにふさわしい「高い信頼性」と「強い耐久性」、「拡張性」を提供します。

本装置の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について




本書は、本装置を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。本装置のセットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本装置のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windowsなどのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意すべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の構成について

本書は8つの章と付録から構成されています。それぞれの章では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本装置を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

第1章 知っておきたいこと

本装置の特長や各部の名称、運用の際の一般的な操作方法などについて説明します。

第2章 ハードウェアのセットアップ

本装置を取り付けるラックの設置からラックへの取り付け手順まで本装置の電源をONにすることができる状態にするまでの手順について説明します。

第3章 システムのセットアップ

OSをインストールする手順およびインストール後に行うべき最低限のセットアップについて説明します。再インストールの際にも参照してください。

第4章 システムの運用と管理

システム管理者のための詳細な設定とその手順、システムを構築する上での注意事項などを記載しています。

第5章 ストリーミングサーバソフトウェア

本装置にバンドルされているソフトウェアについて説明します。

第6章 マザーボードのセットアップ

マザーボード上やディスクアレイコントローラのBIOSチップの設定を変更するユーティリティの使用方法について説明します。

第7章 故障かな?と思ったときは

本装置を運用する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときは、本装置の故障を疑う前に参照してください。

第8章 オプションの増設

本装置用のオプションの取り付け・取り外し手順について説明します。

付録A 仕様

本装置の仕様です。

付録B ユーザーサポート

弊社が提供するさまざまなサポート業務やサービス業務について紹介します。

付録C 保守サービス会社網一覧

本装置の保守を依頼するときに参照してください。

付属品の確認

本装置の梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成部品表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一、足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、本装置が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「EXPRESSBUILDER」は、紙封筒に包装されています。パッケージの構成につきましては、紙封筒内にある「EXPRESSBUILDER」の構成部品表を参照してください。また、「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを紛失し、再購入を希望される場合は、販売店へご相談ください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスクまたはDVD/CD-ROMは使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

第三者への譲渡について

本装置または本装置に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

● 本体について

本装置を第三者へ譲渡（または売却）する場合には、装置に添付の「スタートアップガイド」を一緒にお渡しください。



ハードディスクドライブ内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクドライブに保存されている大切なデータ（例えば顧客情報や企業の経理情報など）が第三者へ漏洩することのないようお客様の責任において確実に処分してください。

WindowsやLinuxなどのオペレーティングシステムの「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクドライブに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア（有償）またはサービス（有償）を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡（または売却）し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

- 添付のソフトウェアについて

本装置に添付のソフトウェアを第三者に譲渡(売却)する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- － 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- － 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- － 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

消耗品について

本装置の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります(冷却ファン、内蔵DVD/CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブ、マウスなど)。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

消耗品・装置の廃棄について

本体をはじめ、ハードディスクドライブ、フロッピーディスク、CD-ROMやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



- 本装置のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
- ハードディスクドライブやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RWなど)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。



装置内蔵のバッテリーが故障すると、POSTの画面上で以下のメッセージが表示されます。お買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してバッテリーの交換を依頼してください。

0250 System battery is dead - Replace and run SETUP

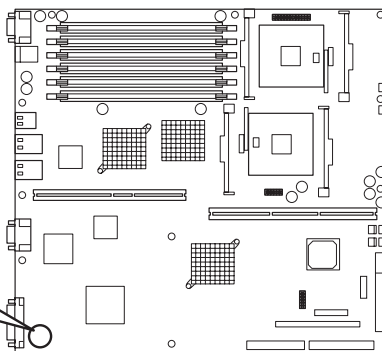
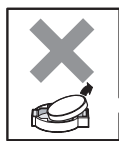


警告

リチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています。リチウムバッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーを火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。


また、リチウムバッテリーの故障で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。



マザーボード

その他、オプションボードに搭載されているバッテリーの位置についてはオプションボードに添付の説明書を参照してください。

目次

 使用上のご注意 ～必ずお読みください～	iii
安全にかかわる表示について	iii
本書および警告ラベルで使用する記号とその内容	iv
安全上のご注意	v
全般的な注意事項	v
電源・電源コードに関する注意事項	vii
ラックの設置・取り扱いに関する注意事項	viii
設置・移動・保管・接続に関する注意事項	ix
お手入れ・内蔵装置の取り扱いに関する注意事項	x
運用中の注意事項	xi
警告ラベルについて	xii
取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～	xiii
はじめに	xvi
本書について	xvi
本文中の記号について	xvi
本書の構成について	xvii
付属品の確認	xviii
第三者への譲渡について	xviii
消耗品について	xix
消耗品・装置の廃棄について	xx
オンラインドキュメントについて	xxx

1 知っておきたいこと

本装置について	2
ストリーミングサーバとは	2
本装置の特長と機能	3
ハードウェアが提供する機能	4
ソフトウェアが提供する機能	6
各部の名称と機能	13
装置前面	13
装置前面 ～フロントベゼルを外した状態～	14
装置背面	15
装置内部	16
マザーボード	16
ライザーカードA	17
ライザーカードB	17
ランプ	17
POWERランプ	17
STATUSランプ	18
DISK ACCESSランプ	19
IDランプ(ID)	19
アクセスランプ	19

ハードディスクドライブのランプ	19
ネットワークポートのランプ	20
電源ユニットのランプ	21
基本的な操作	22
フロントベゼル ～取り付け・取り外し～	22
電源のON	23
本装置への接続(ログイン)	24
電源のOFF(および再起動)	25
リセット	27
強制電源OFF	27
MWAを使用しての電源制御	27
フロッピーディスクドライブ	28
フロッピーディスクのセット/取り出し	28
フロッピーディスクの取り扱いについて	28
DVD/CD-ROMドライブ	30
DVD/CD-ROMのセット/取り出し	30
取り出せなくなったときの方法	31
DVD/CD-ROMの取り扱い	32

2 ハードウェアのセットアップ

設 置	34
ラックの設置	34
ラックへの取り付け/ラックからの取り外し	35
取り付け部品の確認	36
必要な工具	36
取り付け手順	37
取り外し手順	40
接 続	41
周辺装置との接続	41
電源コードの接続	43
OSのセットアップについて	45
HostRAID™について	45
HostRAIDの概要	45
仕様概要	45
特徴	45
注意事項	46
移動と保管	47

3 システムのセットアップ

初めて電源をONにするとき	50
1 セットアップの準備	50
2 電源のON	51
3 初期設定	52
4 WebUIでの設定	54
パスワードの変更	54
デフォルトゲートウェイの設定	55
日付と時刻の設定	56

通知電子メールの設定	57
ネットワーク識別の設定	57
5 サーバー証明書の更新	59
6 サービスパックとパッチの適用	60
7 その他の設定	61
8 システム情報のバックアップ	62
再セットアップ	63
1 再セットアップの準備と確認	63
2 ディスクアレイの構築	64
HostRAIDによるディスクアレイ	64
オプションボードによるディスクアレイ	64
3 ディスク設定の確認	64
アレイ構成を変更せずに再インストールを行う場合	65
アレイ構成を変更して再インストールを行う場合	67
ハードディスクドライブを交換した場合	68
4 起動デバイスの優先順位確認	68
5 シームレスセットアップによるコンフィグレーション	69
6 バックアップDVD/CD-ROMからの復元	70

4 システムの運用と管理

はじめに	72
運用目的について	72
修正モジュールについて	72
セキュリティパッチについて	72
インストールと初期セットアップについて	73
WebUIの使用時の注意事項	73
オプション機能	74
ネットワーク設定	75
LANインタフェースの設定	75
ドメインの変更	79
ファイアウォールの設定	81
ネットワーク負荷分散や回線の冗長化について	84
Intel(R)PROSetに関する注意事項	84
設定例1	86
設定例2	90
ディスクとメモリ管理	94
ディスクの管理	94
ボリュームの管理	95
シャドウコピーの管理	100
Windowsのマウントについて	104
RAID構成の管理	107
メモリの管理	108
ユーザー管理	110
ワークグループでのユーザー管理	110
ドメインでのユーザー管理	112
Windows Mediaサービス	113
Windows MediaサービスWebアドミニストレータ	114
サービスの起動と停止	116
サービスの起動	116
サービスの停止	116

公開ポイントの追加と削除	118
公開ポイントの追加	118
公開ポイントの削除	119
ストリーミング配信の開始と停止	120
ブロードキャスト公開ポイントからの配信	120
ユニキャスト公開ポイントからの配信	121
各種プロパティの変更	122
出荷時の設定状態	123
規定の公開ポイントのコンテンツソース	123
Sample_Broadcastのコンテンツソース	123
サーバ全体のプロパティ	123
各公開ポイントのプロパティ	123
設定情報のバックアップ	124
バックアップ	124
リストア(復元)	125
コンテンツ管理	127
コンテンツのアップロード	127
WM9S-Plusを使用したアップロード	127
FTPを使用したアップロード	128
ネットワーク共有(Windows共有)によるアップロード	128
コンテンツの視聴テスト	129
コンテンツ情報のエクスポート	130
視聴ログ管理	131
統計表示	131
ログ収集サービス	132
スケジュール管理	133
スケジュール管理画面	133
共有	135
FTP共有	135
Windows共有	136
バックアップ	137
バックアップ	137
バックアップ手順	137
バックアップに関する注意事項	138
リストア(復元)	139
電源管理	140
ログ管理	141
ログの参照	141
ログの削除	142
アプリケーションログ、システムログ、セキュリティログの場合	142
Web管理ログの場合	144
運用中の監視	145
ESMPROでの監視	145
本装置の状態	145
WebUIでの状態の表示	145
通知電子メール	145
Telnet	146
その他	146

5 ストリーミングサーバソフトウェア

添付のDVD/CD-ROMについて	149
EXPRESSBUILDER	150
起動メニューについて	150
EXPRESSBUILDERトップメニュー	151
起 動	151
シームレスセットアップ	152
ツールメニュー	153
コンソールレスメニュー	156
起動方法	156
メインメニュー	157
セットアップ	157
ツールメニュー	157
マスターコントロールメニュー	158
ESMPRO	159
ESMPRO/ServerAgent (Windows版)	159
動作環境	159
セットアップを始める前に	160
ESMPRO/ServerAgentのセットアップ	162
補足説明	163
ESMPRO/ServerManager	178
MWA	179
MWAでリモート管理可能な装置	179
注意事項	179
コンソールが接続されていない場合のコンフィグレーション方法	180
LAN接続された管理PCから実行する	180
ダイレクト接続(シリアルポート2)された管理PCから実行する	182
オフライン保守ユーティリティ	184
オフライン保守ユーティリティの起動方法	184
オフライン保守ユーティリティの機能	185
システム診断	186
システム診断の内容	186
システム診断の起動と終了	186
Adaptec Storage Manager™ - Browser Edition	189
購入時のセットアップ	189
バックアップDVD/CD-ROMからのセットアップ	189
テープ監視ツール	190
カスタムインストールモデルでのセットアップ	190
手動インストール(新規インストール)	190
動作環境	190
監視対象装置	191
インストール手順	191
エクスペレス通報サービス	192
プリインストールモデルでのセットアップ	192
セットアップに必要な契約	192
エクスペレス通報サービスを有効にする操作	193
手動インストール(新規インストール)	193
エクスペレス通報サービスのセットアップ環境	193
セットアップに必要な契約	194
PC通報連携機能	194

バックアップ装置ファームウェアアップデートツール	195
Power Console Plus	196
特 長	196
コンポーネント構成	196
セットアップと環境設定	197
Power Console Plusに関する注意事項	197
Power Console Plusのアクティベーション(有効化)	198
Power Console Plusの起動と終了	200
起 動	200
終 了	201
Power Console Plusの機能	202
ツールバー アイコン	203
メニューバー オプション	206
Power Console Plusの操作	217
ドライブステータス	217
Logical Devices	217
Adapter(コントローラ)プロパティの表示	218
物理ドライブプロパティの表示	218
ロジカルドライブプロパティの表示	218
Adapter(コントローラ)の選択	219
アレイ・ロジカルドライブの構成手順	219
物理ドライブのリビルド実施手順	222
ロジカルドライブの整合性チェック実施手順	223
定期的な整合性チェックの実施	224

6 マザーボードのセットアップ

システムBIOS ～SETUP～	228
起 動	229
キーと画面の説明	230
設定例	231
パラメータと説明	234
Main	234
Advanced	237
Security	245
Server	248
Boot	254
Exit	255
割り込みラインとI/Oポートアドレス	257
CMOSメモリ・パスワードのクリア	260
SCSI BIOS ～SCSI Select～	263
SCSI Selectユーティリティの用途	263
マザーボード内蔵のコントローラに対する設定	264
起 動	264
Configure/View Host Adapter Settings	265
パラメータの詳細	266
SCSI Disk Utilities	270
終 了	270
オプションボードのコントローラに対する設定	271

7 故障かな？と思ったときは

日常の保守	274
アラートの確認	274
ステータスランプの確認	274
バックアップ	275
クリーニング	275
本体のクリーニング	275
キーボード/マウスのクリーニング	276
DVD/CD-ROMのクリーニング	277
テープドライブのクリーニング	277
障害時の対処	278
障害箇所の切り分け	278
サーバの確認 ～IDスイッチ～	279
POSTのチェック	280
POSTの流れ	280
POSTのエラーメッセージ	282
エラーメッセージ	283
ランプによるエラーメッセージ	283
POST中のエラーメッセージ	283
MWAによる仮想LCDのエラーメッセージ	293
Windowsのエラーメッセージ	297
サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ	298
トラブルシューティング	299
装置本体について - 導入時の問題 -	299
装置本体について - 運用時の問題 -	301
Windows Media 9 Appliance Serverについて	313
EXPRESSBUILDERについて	317
マスターコントロールメニューについて	318
ディスクアレイについて	319
ESMPROについて	320
Power Console Plusについて	320
バックアップ装置について	320
障害情報の採取	321
イベントログの採取	321
構成情報の採取	322
ワトソン博士の診断情報の採取	322
メモリダンプの採取	323
IPMI情報のバックアップ	324
システムの修復	325

8 オプションの増設

注意事項	328
安全上の注意	328
一般的な注意	329
静電気対策について	330
取り付け/取り外しの準備	331
装置の確認	331
電源のOFF	331

取り付け/取り外しの手順	332
ハードディスクドライブ	332
購入時のディスク構成について	333
取り付け	333
取り外し	336
電源ユニット	338
取り付け	338
故障した電源ユニットの交換	340
本装置 ～ラックからの引き出し～	341
トップカバー	342
取り外し	342
取り付け	342
DIMM	343
DIMMの増設順序	343
オンライン・スペア・メモリ機能	344
取り付け	346
取り外し	347
プロセッサ(CPU)	348
取り付け	349
取り外し	352
PCIボード	353
注意事項	354
サポートオプション	355
搭載可能なPCIボードについて	356
取り付け	357
取り外し	360
ディスクアレイコントローラ	361
取り付け	362
取り外し	362
内蔵のハードディスクドライブをディスクアレイ構成にする場合	363
3.5インチドライブベイ	365
付録A 仕様	367
付録B ユーザーサポート	368
装置の保証について	368
バッテリーの保証について	368
修理に出される前に	369
修理に出される時は	369
保守用部品について	369
保守サービスについて	370
情報サービスについて	373
付録C 保守サービス会社網一覧	374
索引	379

オンラインドキュメントについて

添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMには次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。ファイルはEXPRESSBUILDERのマスターコントロールメニュー(158ページ)から開くことができます。

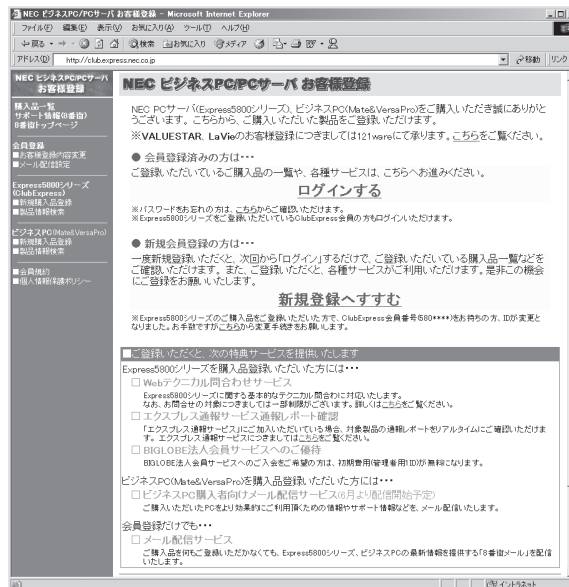
- ユーザーズガイド(本書)
- StreamPro/WM9S-Plusセットアップガイド
- StreamPro/WM9S-Plusユーザーズマニュアル
- HostRAID™ Adaptec Storage Manager™ - Browser Editionユーザーズマニュアル
- HostRAID™ SCSI Selectユーティリティ操作説明書
- ESMPRO/ServerManagerインストールレーションガイド
- MWAインストールレーションガイド
- 19インチラックユーザーズガイド
- エクスプレス通報サービスインストールレーションガイド
- テープ監視ツールセットアップガイド
- Express Server Management Guide

ユーザー登録をしましょう!

NECでは、製品ご購入のお客様に「Club Express会員」への登録をご案内しております。添付の「お客様登録申込書」に必要事項をご記入の上、エクスプレス受付センターまでご返送いただくか、またはClub Expressのインターネットホームページ

<http://club.express.nec.co.jp/>

にてご登録ください。



「Club Express会員」のみなさまには、ご希望によりExpress5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスを、無料で提供させていただきます。サービスの詳細はClub Expressのインターネットホームページにて紹介しております。是非、ご覧ください。